

1. 本授業科目の基本情報

講義名(コード)	TCM214	TCM_ビジネスマナーⅣ		
科目名(コード)	TCM214	TCM_ビジネスマナーⅣ		
対象学科	国際コミュニケーション学科		配当学年	2年生
対象コース	CM2		単位数	2単位30
授業担当者	伊東かつみ		時間数	
成績評価教員	伊東かつみ		講義期間	秋期
実務者教員			履修区分	必修
実務者教員特記欄				講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるように、複雑な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる。
全体の内容と概要	就活やビジネスで使用する語彙を理解し、頻出漢字を書けるようになる。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	配布したプリントは各自ファイルしておくこと。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	「サービス敬語」、研修やインターンシップに備える	10課 失礼な表現、前期の復習
2	「サービス敬語」、研修やインターンシップに備える	10課患者とのロープレ、確認
3	相談をされた時の返答の仕方をも身につける	11課 医療従者との会話ロープレ
4	自分の意見を言う場合の話し方を身につける	12課 文の言い換え
5	面接での話し方を身につける	13課 口語⇒書面語 ロールプレイ
6	電話での話し方を身につける	14課 よくわからない時にの対処 席を外している、外出中、N1の動画ロープレ
7	他者への質問の仕方をも身につける	15課 インタビューのロープレ インタビューのロープレ
8	上司へ失礼のないように報告することができるようになる	16課 聞いたことを報告する：～そうです、発生したことを上司に報告する
9	上司へ失礼のないように報告することができるようになる	16課 失敗、意外なこと、問題事等を時系列的に報告する
10	司会を行う際に必要な敬語表現をも身につける	17課 前回の復習、簡単な司会の文型
11	メールの敬語表現をも身につける	18課 メール文型を作って、グループで発表、イベントのお知らせ、アポイント、イベント参加のお礼
12	メールの敬語表現をも身につける	18課 テーマのメールを書く；欠席のお詫び、アポイントに答える、参加する、参加できない時
13	テストの説明、練習	テストの練習
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	新・にほんご敬語トレーニング
参考文献・資料等	適宜プリント配布
備考	進度は変更になることがあります。 水曜日1限